

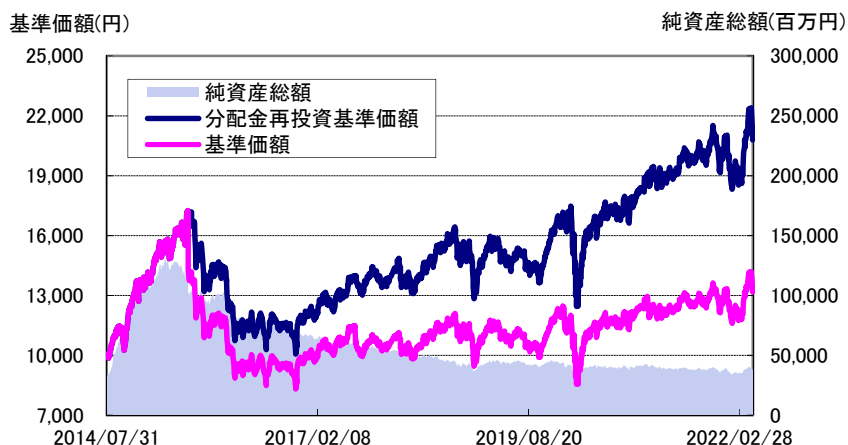
メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

追加型投信／内外／株式
2022年4月28日基準

運用実績

運用実績の推移



(設定日：2014年8月1日)

基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。

分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。

分配金再投資基準価額＝前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)

(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	13,300 円
純資産総額	37,766 百万円

※基準価額は1万口当たり。

ポートフォリオ構成

実質組入比率	97.1 %
現物組入比率	97.1 %
先物組入比率	0.0 %
現金等比率	2.9 %
組入銘柄数	106

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

1カ月	3カ月	6カ月	1年	2年	3年
-0.98%	11.92%	0.59%	8.62%	31.15%	39.49%

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。

分配金実績(税引前) ※直近3年分

第10期 (2019.07.23)	160 円
第11期 (2020.01.23)	670 円
第12期 (2020.07.27)	140 円
第13期 (2021.01.25)	650 円
第14期 (2021.07.26)	220 円
第15期 (2022.01.24)	0 円
設定来累計分配金	6,090 円

※1 分配金は1万口当たり。

※2 左記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

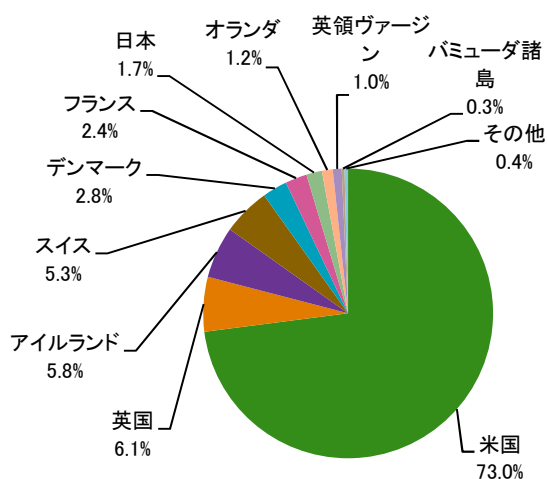
当月の基準価額変動の要因分析（単位：円）

株式要因	-728
配当要因	8
為替要因	608
小計	-112
その他	2
信託報酬	-21
分配金	0
合計	-131

※1 左記の要因分析は、組入株式の値動き等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために「簡便法」により計算しておりますので、その正確性、完全性を保証するものではありません。

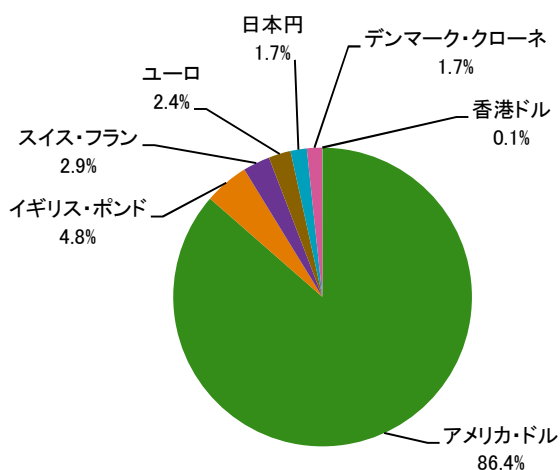
※2 株式要因、配当などによる要因（配当要因）、株式の評価にかかる為替変動による要因（為替要因）、信託報酬、分配金以外による基準価額の騰落額を「その他」に表示しています。

国・地域別構成比



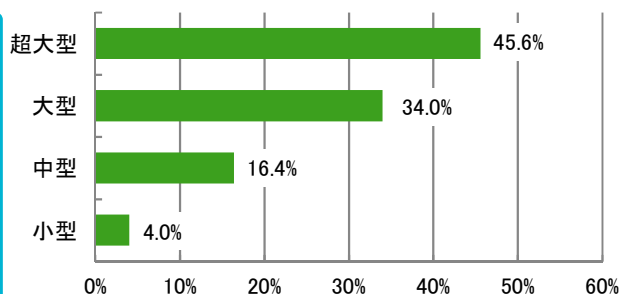
※比率は組入株式評価額に対する割合です。また、上位11位以下の国・地域については、「その他」として集計しています。

通貨別構成比



※比率は組入株式評価額に対する割合です。

規模別分類

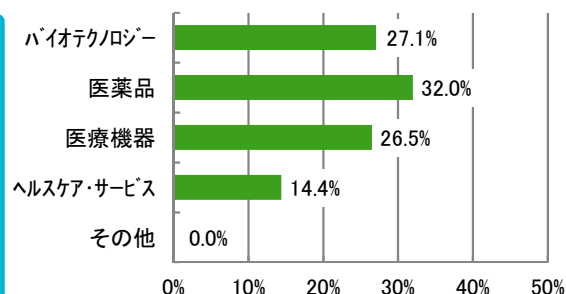


※1 比率は組入株式評価額に対する割合です。

※2 発行済株式時価総額を基準日の為替レートで米ドルに換算して以下の通り分類しています。

超大型：1,000億ドル以上
 大型：100億ドル～1,000億ドル未満
 中型：10億ドル～100億ドル未満
 小型：10億ドル未満

業種別分類



※1 比率は組入株式評価額に対する割合です。

※2 業種はジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーによる分類です。

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

組入上位10銘柄

No.	銘柄	国・地域	業種	比率(%)	
1	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア・サービス	6.30	米国最大手の医療保険会社。医療保険のみならず、薬剤給付管理事業でも強固な事業基盤を有する。
2	アストラゼネカ	イギリス	医薬品	4.80	英国に本社を置く製薬企業。消化器、中枢神経、循環器、がんなど幅広い領域の製品群を擁する。
3	アッヴィ	アメリカ	バイオテクノロジー	4.04	抗体医薬などを主力とする研究開発型バイオ医薬品企業。2013年に米国アボット社の新薬事業部門を分離し独立。
4	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	2.92	心血管疾患、感染症、自己免疫疾患などの疾病を対象とする処方薬を製造するスイスの大手医薬品メーカー。
5	ブリistol・マイヤーズ・スクイブ	アメリカ	医薬品	2.67	アメリカの医薬品会社。抗生剤・抗腫瘍薬・HIV/エイズ治療薬に有力な製品群を持っている。
6	イーライリリー	アメリカ	医薬品	2.67	糖尿病治療薬や抗がん剤を主力とする大手製薬会社。
7	アボット・ラボラトリーズ	アメリカ	医療機器	2.66	医薬品、栄養補助食品、血管系医療機器などを幅広く展開する総合ヘルスケア企業。
8	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	医療機器	2.60	医療用の計測機器や、容器などの医療用消耗品を幅広く手掛ける。積極的な買収により製品ラインアップを拡充。
9	パーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	バイオテクノロジー	2.45	嚢胞性線維症やがんなどの難病に対する治療薬を開発するバイオ医薬品会社。
10	メルク	アメリカ	医薬品	2.45	グローバルに事業を展開する製薬会社。医薬品、ワクチンなどを販売する。

※1 比率は組入株式評価額に対する割合です。

※2 業種はジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーによる分類です。

※3 上記は、組入銘柄の紹介を目的としてジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーからの情報を基に委託会社が作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

マーケット動向と当ファンドの動き

4月のグローバル株式市場は下落しました。月初は、良好な米雇用統計を背景に上昇して始まったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)高官からタカ派的な発言が相次ぎ、金融引き締めに対する警戒感から下落に転じました。月中旬には、欧米主要企業の好調な決算内容を受けて反発する場面もありましたが、パウエルFRB議長が50bpの利上げを示唆したこともあり、投資家のリスク選好姿勢は弱まりました。注目されたECB(欧州中央銀行)理事会では金融政策が据え置かれたものの、ECB高官の間では金融政策正常化の前倒しを支持する発言が散見され、金利上昇圧力が強まりました。その他、ウクライナ情勢をめぐる経済制裁や中国主要都市におけるロックダウン(都市封鎖)なども、市場の重しとなりました。同様に、ヘルスケアセクターの株価も下落しています。株式市場全体と共に幅広い銘柄が軟調となっており、中でも医療機器関連銘柄が下げを主導しました。こうした中、基準価額も下落しています。個別銘柄では、がんや感染症の治療薬を開発するザイ・ラボを新規で組み入れた一方、がん治療に関する検査サービスを提供するネオゲノミクスを売却しました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

バイオテクノロジー関連銘柄は、依然として値の重い展開が続いています。金利上昇に対する警戒感がくすぶる中で、高バリュエーション銘柄全般に対する逆風が強まっています。しかし、企業が持つイノベーションの牽引力は維持されており、下落の結果として株価も割安になっているため、魅力的な新薬の開発などを契機として、今後は回復を見せると考えています。一方、より安定した収益力や強固なバランスシートを持つ銘柄のポジションも増やしており、銘柄の成長性ととも、安定性にも配慮したポートフォリオを構築しています。

ウクライナ情勢やインフレ率の高止まりなど、様々なリスク要因が存在しているものの、ヘルスケア分野における飛躍的な進歩は継続しています。高度な生物学的理解や新たな治療法の開発、高齢化といった長期的トレンドが生み出す需要は依然として高く、今後の成長見通しに変化はありません。そのため、足元のボラティリティの高まりは、長期的な投資家にとっては懸念材料ではなく、投資の好機であると考えています。

※上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。

また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

この投資信託は、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

- 主として成長性の高い世界のメディカル・サイエンス企業の株式に投資します。
 - ・メディカル・サイエンス企業とは、バイオテクノロジー、医薬品、医療機器、ヘルスケア・サービスなどに関連する企業を指します。
 - ・医療技術の進歩や新興国の生活水準の向上に伴い、急速な拡大が期待される医療需要をとらえて成長する世界のメディカル・サイエンス分野に着目します。
- 運用に当たっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部^(*)を委託します。
(*)株式の運用およびそれに付随する為替取引を指します。
- 原則として、対円で為替ヘッジは行いません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク…………… 当ファンドは、株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。
- 為替リスク…………… 当ファンドは、組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
- 業種および個別…………… 当ファンドは、業種および個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも当ファンドの基準価額は下がる場合があります。
銘柄選択リスク
- 信用リスク…………… 当ファンドが投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。
- 流動性リスク…………… 当ファンドにおいて有価証券等を売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金 申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2029年7月19日まで(2014年8月1日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認める場合 ・受益権口数が10億口を下回ることとなった場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年1月および7月の各23日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.98%(税抜1.80%)
その他の費用・ 手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点(2022年5月18日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ 収益分配金に関する留意事項 ◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

◆ 委託会社およびファンドの関係法人 ◆

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エル
エルシー

◆ 委託会社の照会先 ◆

- アセットマネジメントOne株式会社
- コールセンター 0120-104-694
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

※ 当資料は7枚ものです。



アセットマネジメントOne

メディカル・サイエンス・ファンド

愛称：医療の未来

2022年4月28日基準

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

○印は協会への加入を意味します。

2022年5月18日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号	○		○		
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○		○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○		
株式会社第四北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号	○		○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○		
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	○				
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第1号	○		○		
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第34号	○	○	○		
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号	○				
株式会社大東銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第17号	○				
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○				
朝日信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第143号	○				
岐阜信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第35号	○				
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○				
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○				
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○				
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○				
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	○				
三豊証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第7号	○				
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○				
株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○				※1

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。
また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は7枚ものです。

※ P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne